

「紅花植えるべ!」「蕎麦屋完成」

紅花植えるべ!

思い起こせばあれは確か7年前、平成9年のことだった。  
伊佐沢も結構観光客が増えだし、何か山形らしいものを見せつけてはどうだろう？  
県の担当者から提案があった。  
早速村の男衆は集まった。  
もちろん酒盛りをするために、あ、いや違った、話し合いに。  
そして山形県の花、紅花を植えようと決まった。  
紅花の後には蕎麦を撒こう！  
ちょうどその場所には旧金子家があった。  
男衆は毎晩のように家族に“花植える段取り行ってくる”と言い残し、旧金子家で酒を酌み交わした。  
酒を飲んだ席での話は半分以上嘘！という世の中の常識は伊佐沢では通用しない。  
伊佐沢は酒を飲んで、言った事は実行するのである。  
ということで、ほどなく紅花畑は観光客に絶賛されることになる。  
紅花が散ったあと、いよいよ蕎麦を撒く。  
こちら農業のプロ伊佐沢衆にとってはお手の物であった。  
秋、収穫した蕎麦を打ち、いつもよりも増して酒が進んだ。  
“ん？ん？これ、うまいんでないがい！”  
“ほだな！これんめな！おい！”  
“金子さん、ここ古くていい家だもの、蕎麦屋でもしたらいいんでねーがい？”  
酒を飲んだ席の話でも確実に実行しなければならぬ…。  
店主は考えた。そして決めた。  
「やってみるか」

蕎麦屋完成

平成10年秋、ついに蕎麦屋は完成した。  
このあたりは字名が「蔵高(そうこう)」  
たむろする場所あるいは旅人が一服する場所ということで宿と命名。  
新しいたまり場完成に村は沸いた。  
地元山形、そして観光客にもこの新しいたまり場の話が広がった。  
長井の伊佐沢に行けばおいしい蕎麦が食べられる！  
毎年11月の開店になると、待ちましたとばかりにお客様がいらっしやってくる。  
“いい場所できたなあ！よっし！飲むか！”  
完成したその日から、今までに増して伊佐沢衆がたむろするようになったことは言うまでもない。  
うまい酒を酌み交わし、今日も夜が更けてゆく…。

<http://www.isazawa.com/zoukou/hitorigoto.html>

庄内町

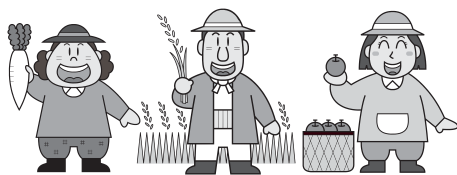
芭蕉が歩いた最上川や羽黒山で、新しい魅力を発見しませんか？

新・奥のほそみち【庄内町編】

- 期日：10月20日(土)11:00～21日(日)14:00
- 場所：庄内町内
- 募集人数：先着20名 要申込み
- 体験料：大人8,000円 小学生7,000円
- 内容：JR余目駅集合  
最上川のさみだれ大堰のすいどう探検、羽黒山への古道散策、餅つき、ソバ打ち等  
宿泊は町営北月山荘を紹介します  
(大人2,000円、子供1,000円)



- 連絡先 庄内町グリーン・ツーリズムの会  
事務局：産業課観光物産係 0234-42-2922



共生・対流の支援活動の紹介



東京 & 山形から…素敵な山形の暮らしを発信します。  
山形暮らしに関心のある方、休日を楽しまたい方、皆様ふるって御参加ください！

予告版

すまいる山形暮らしシンポジウム

- 山形県の魅力や、県・市町村のUJIVターンに係る支援内容などを紹介します。
- 期日・時間：10月17日(水)13:00～16:30
  - 場所：大手町日経ホール(東京都千代田区大手町)
  - 基調講演：ダニエル・カール氏
  - パネルディスカッション：  
パネラー：ダニエル・カール氏、山形県移住者2名、齋藤山形県知事  
コーディネーター：庄司麻由里氏
  - お問い合わせ：すまいる山形暮らし案内所  
(山形県総務部改革推進室政策企画課)  
TEL023-630-3083

オーライ！ニッポン山形シンポジウム

- テーマ：「山形からの提案 新しい交流・滞在のカタチ」
- 期日・時間：11月16日(金)13:30～19:30
- 場所：ホテルメトロポリタン山形(山形県山形市香澄町)
- 基調講演：藤田弓子氏(女優)
- パネルディスカッション：「山形で過ごす至福の時(とき) 休日から定住まで」  
パネラー：栗田和則氏、遠藤周次氏、山形県移住者、観光関係者 等  
コーディネーター：川勝平太氏
- 交流会：会費制の交流会を開催します。
- オプションツアー：11月17日(土)2コースのツアーを計画中です。
- お問い合わせ：山形県農林水産部農政企画課  
TEL023-630-3031